

フレックス LNG (FLNG)

【セクター】 エネルギー輸送

【市場】 NYSE

【企業概要】

2006年に英国領バージン諸島で設立されました。LNG（液化天然ガス）の海上輸送会社です。NY証券取引所とオーストラリア証券取引所に上場しています。2021年12月末時点で、13隻の次世代大型LNG船の運航を行っています。2ストロークエンジン搭載で9隻は電子制御式ガスインジェクション、4隻はデュアルフューエル推進システムです。この13隻のLNG船は韓国のサムスン重工業や大宇造船海洋等が建造しており、建造年が2018年-2021年と比較的新しいです。

【業績】（単位：売上高、純利益は百万ドル、EPS、1株配当、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース）

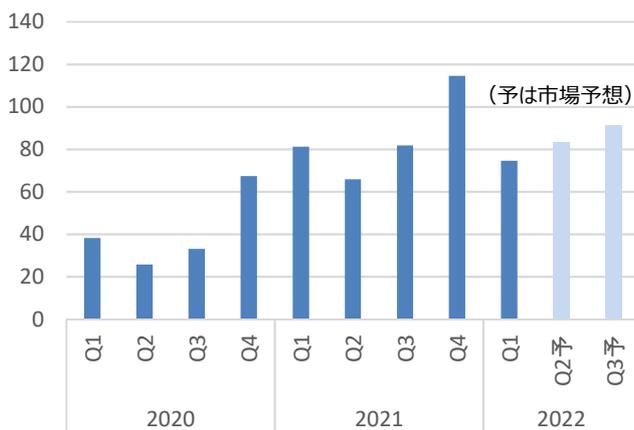
決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
20.12期	164	33	0.62	0.20	15.4	1.0	36.2
21.12期	343	148	2.77	1.85	16.7	18.8	34.6
22.12期（予）	313	162	2.91	3.00	16.9	19.3	-

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

（出所）BloombergのデータよりSBI証券作成

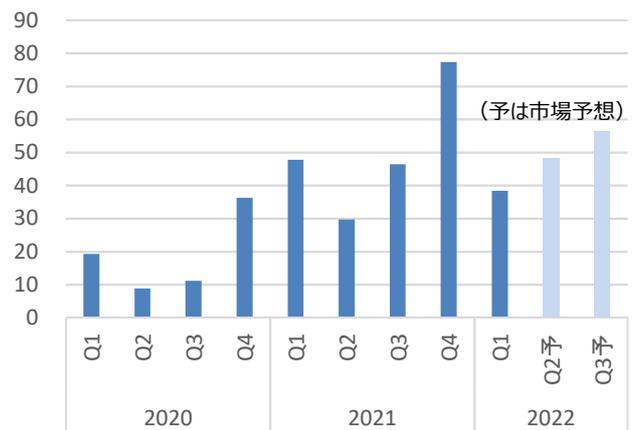
【主要指標】

売上高（百万ドル）



（出所）BloombergのデータよりSBI証券作成

営業利益（百万ドル）



（出所）BloombergのデータよりSBI証券作成

【会社の見方】

2021年12月期における売上高に占める顧客上位4社の割合が約66%と高い事は特徴の1つと言えます。3月15日時点で13隻のうちの多くは一定期間固定の用船料ですが、それ以外は変動の大きいスポット契約で用船料が決まるのでこの分は価格変動の影響を受けやすいです。なお、LNG船市況は北半球でのLNG消費増加期待から秋から冬にかけて強含む傾向があります。

【見通し・注目点】

2022年1-3月期決算は売上高が前年同期比8%減となりました。減収となったのはスポット市場においてLNG取引が航路の短い欧州に向かった事が要因で（1-3月期の欧州のLNG輸入は同60%増）、1日当たり用船料換算収入は同17%下落しました。なお、会社側は今後3-4半期にわたり売上高が徐々に増加すると見込んでいます。また、四半期配当を1株当たり0.75ドルと発表し、仮に同額が継続するとして年換算すると（0.75ドル×4回）、配当利回りは約11%です（6月9日終値26.58ドル）。一方で、予想PER（約9倍）が過去5年中央値（約8倍）を上回っていることから、バリュエーション面では株価の割高感が意識される可能性があります。

本レポートに関するご注意事項

- ・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。
- ・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

手数料及びリスク情報等

- ・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。